

おむつポーチの作り方

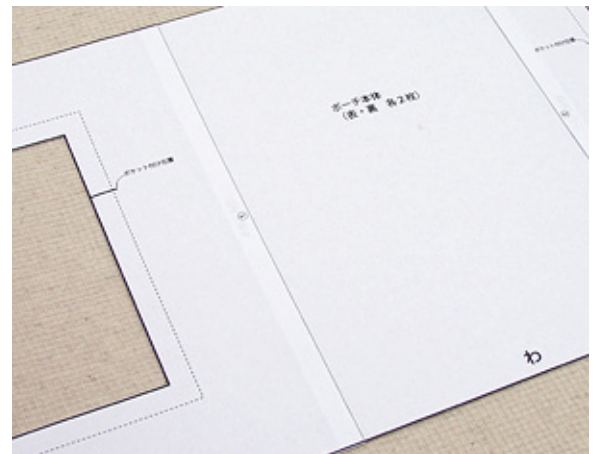
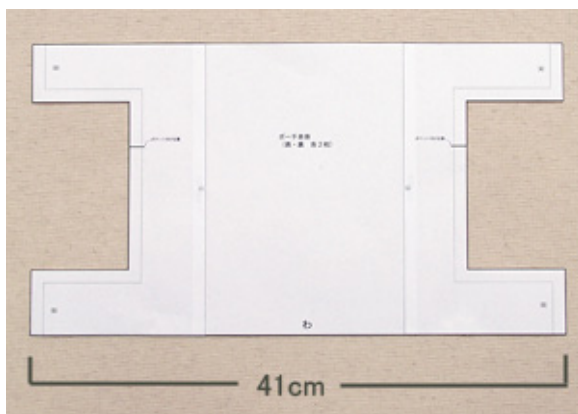
手順

- 1、パターンを切る
- 2、表布、裏布、バイアステープ、接着芯を切る
- 3、表布に接着芯を貼る
- 4、バイアステープを作る
- 5、内ポケットを作る
- 6、ファスナーをつける
- 7、取っ手を作る
- 8、取っ手を縫い付けて、ポーチを形付ける



1、パターンを切る

パターンには、すでに縫い代が含まれています。実線通りに切ります。ポーチ本体は3枚に分かれていますので、のりしろを貼り合わせます。



41cmあるか確認してください。ない場合は、縮小か拡大して印刷されています。「ズーム100%」で印刷してください。

2、表布、裏布、バイアステープ、接着芯を切る

(1)ポーチ本体の表布と裏布、内ポケットを裁断します。
ポーチ本体のパターンを使って、接着芯を裁断します。
バイアステープを裁断します。



ポーチ本体は「わ」になっています。

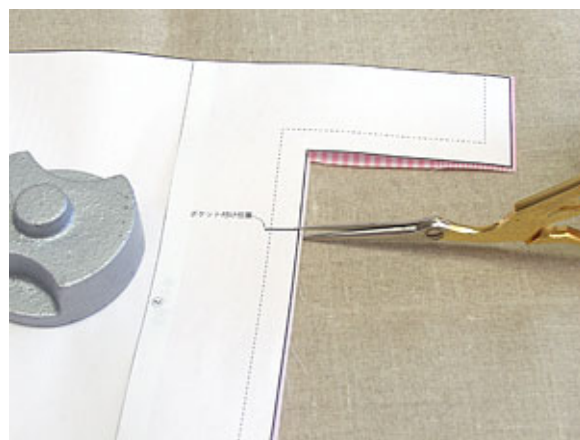
バイアステープは、ファスナー部分に41cmが2本、内側の縫い代の始末に全部で90cm、そして取っ手に14cm必要です。

バイアステープの幅はお好みでいいと思います。
私は18ミリのバイアステープメーカーを使いました。

市販のバイアステープを使うとより簡単です。



(2)ポーチ本体の裏布のポケット付け位置にノッチ(2~3ミリの切込み)を入れます。



3、表布に接着芯を貼る

ポーチ本体の表布の裏に、接着芯をアイロンで貼ります。



4、バイアステープを作る

アイロンでしっかりと折り目をつけます。

市販のバイアステープを使う場合はこの作業は飛ばします。



5、内ポケットを作る

(1) アイロンでポケットの口を3つ折りにします。
底の縫い代も1cmで折っておきます。



(2) ポケットの口にミシンをかけます



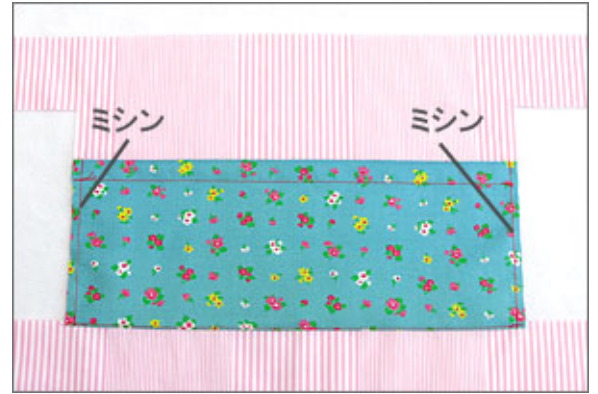
(3) ポーチ本体の「ポケット付け位置」にポケット口を合わせて置き、マチ針で両サイドをとめて、底をミシンで縫います。



(4) ポケットがずれないように、両サイドを粗く縫っておきま

端から5ミリぐらいのところを縫います。

ポケットはとても大きいので、お好みで真ん中にステッチを入れてポケットを2つに分割したり、ポケット口にスナップをつけてもいいと思います。



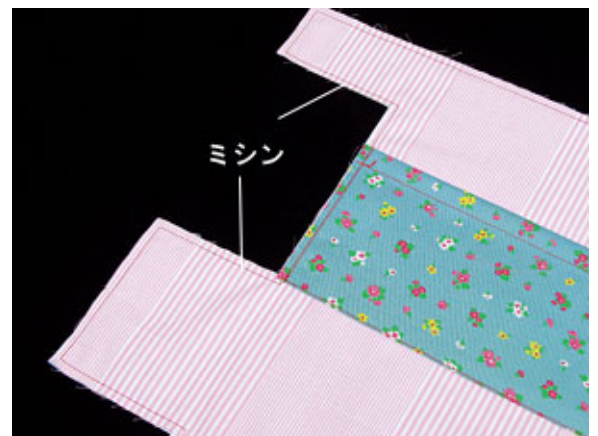
6、ファスナーをつける

(1) まず、表布と裏布がずれないようにします。

表布と裏布を外表に合わせて周りを粗くミシンをかけます。端から5ミリぐらいのところを縫います。



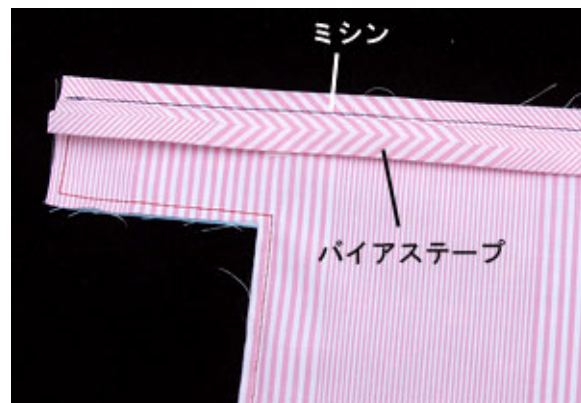
外表にあわせませす。



表布と裏布がずれないように、ぐるっと一周、縫い合わせておきます。

表布にタグなどを縫いつける場合は、表布と裏布を縫い合わせる前に縫っておきます。

(2) ポーチの口になる部分にバイアステープをつけます。まず、裏からバイアステープを縫い付けます。



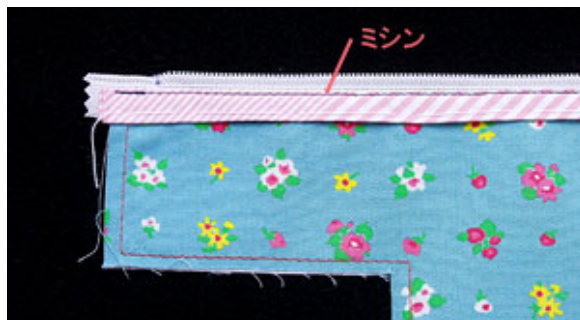
(3) 表に返して、バイアステープでポーチ本体の生地端をくるみます。細かくマチ針を打つか、しつけをするか、両面接着テープを貼るなどして、バイアステープを固定します。ここでは、しつけをしました。



(4) 次にファスナーを縫い付けるのですが、**ファスナーはバイアステープの端から5ミリ出して**、固定します。固定するために、マチ針を打つかしつけをするか両面接着テープを貼るか、、、などします。ここでは、両面接着テープを貼って、しっかりと固定しました。



(5) ミシンで縫います。



(6) 次にしつけのすぐそばを縫います。



裏から見るとこんな感じです。
2本のステッチでファスナーをしっかりとつけます。

(7) もう片側のファスナーも同じ要領で縫います。

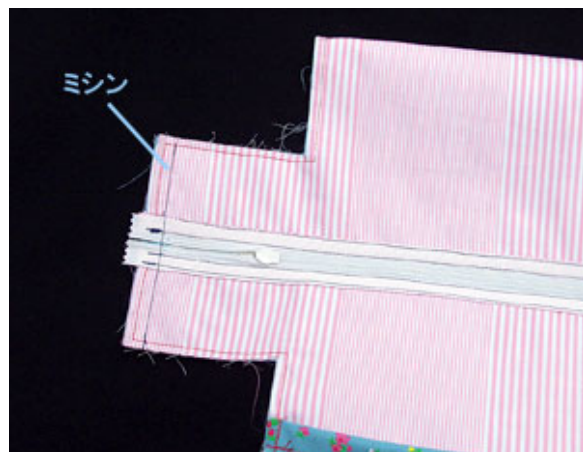


(8) ポーチを裏返して、AとBを縫い合わせます。ファスナーを縫い付ける工程で、きちんと5ミリ出せていれば、AとBが同じ寸法になっているはずですが。

もう片側のAとBも同じように縫います。

端から1cmのところを縫います。

(A) と (B) はパターンに記載してあります。



(9) 余分なファスナーはハサミで切り落とします。



(10) 縫い代をバイアステープの幅に合わせてカットします。私が使ったバイアステープは18ミリで、半分に折ると9ミリになります。生地のも厚みも考えて縫い代を7~8ミリにカットしました。

そしてバイアステープで縫い代をくるみ、ミシンをかけます。



(11) バイアステープを底側に倒します。ポーチを表から見て、ステッチをかけます。



(4) もう片側も同じように、バイアステープでくるみ、底側に倒し、ステッチを入れます。

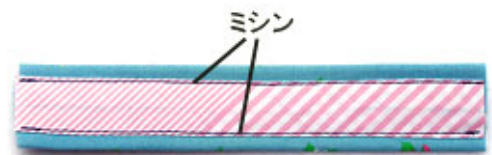
7、取っ手を作る

(1) 取っ手の芯に取っ手布をくるみます。

ずれないように両面接着テープを貼って固定します。両面接着テープがなければしつけをしてください。



(2) バイアステープを縫い付けます。



8、取っ手を縫い付けて、ポーチを形付ける

(1) サイドを縫っていくために、ポーチを裏に返します。

取っ手をはさんでマチ針をうちます。

見栄えを考えると、取っ手は真ん中に付ける方がいいのですが、ここでは縫いやすさを優先して、取っ手はバイアステープのすぐ上に付けることにします。下の補足も参考にしてください。

取っ手の位置がよく分かるように、取っ手がポーチ本体の縫い代よりはみだしています。実際にははみ出しません。

取っ手の裏表に注意。右の写真で言うと、裏面が手前に来ます。

取っ手はファスナーの上止がある側に付けてください。



補足

取っ手は、バイアステープのすぐ上ではなく、このようにちょうど真ん中にはさむと、見た目のバランスがよくなります。しかし、バイアステープやポーチ本体の縫い代など、生地が何重にもなるため、縫いにくくなります。縫いやすさを優先するか、見た目のバランスを優先するか・・・取っ手の位置は、お好みで決めてください

(2) サイドを縫います。端から1cmのところを縫います。



(6) バイアステープで縫い代をくるみミシンをかけます。

バイアステープを使って、縫い代の始末をする縫い方は、[topics17シェルポーチの作り方「9、縫い代の始末をする」](#)でご紹介しております。
よろしければ参考になさってください。



(7) 表に返せば完成です。

